

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.11

日時	2013年5月26日
行脚先	上月城
住所	兵庫県佐用郡佐用町(旧上月町) (播磨国)
行事名	

特徴

延元元年(1336年)、赤松氏の一族上月景盛によって築かれました。
しかし、嘉吉元年(1441年)、嘉吉の乱で赤松満祐に加担した上月景則が幕府軍の追討を受け、上月氏は滅亡します。
その後、山名氏と赤松氏の攻防の末、弘治3年(1557年)、赤松政元が置塩城から入城します。
政元の子・赤松政範は、佐用・赤穂・揖東・揖西・宍粟の五郡を領し、「西播磨殿」と呼ばれました。
しかし、天正5年(1577年)、織田信長の武将羽柴秀吉と黒田官兵衛達の攻撃を受け、落城となりました。
その後、城には尼子勝久が入りましたが、翌天正6年(1578年)、毛利輝元率いる大軍に攻め入られました。
救援の羽柴秀吉は三木城攻略のため撤退、孤立した尼子勝久は毛利氏に降服し自害。上月城は廃城となります。
現在は、土塁・石垣・空堀などの遺構が残る他、本丸に赤松氏の供養塔、麓には尼子氏の供養塔が残されています。

黒田官兵衛との関わり

天正5年(1577年)、官兵衛が居城であった姫路城を羽柴秀吉に提供し、参謀として活躍するようになった後、秀吉本隊の上月城の戦いに竹中重治らと共に加わりました。

記録

